

事務事業評価シート

(平成 26 年度実施事業)

事務事業名	道路除排雪事業			事業コード	1755
所属コード	155000	課等名	[玉山] 建設課	係名	建設グループ
課長名	水澤 豊彦	担当者名	米田 豊	内線番号	4400-231
評価分類	☒ 一般 ☐ 公の施設 ☐ 大規模公共事業 ☐ 補助金 ☐ 内部管理				

1 事務事業の基本情報・・・・・・・・・・・・・・・・

(1) 概要（旧総合計画体系における位置づけ）

総合計画 体系（旧）	施策の柱	快適な都市機能	コード	7
	施策	快適な住居環境の実現	コード	3
	基本事業	生活道路環境の向上	コード	1
予算費目名 (H26)	一般会計 8 款 2 項 2 目 道路除排雪事業（001-03）			
特記事項 (H26)	総合計画主要事業			
事業期間	☐ 単年度 ☒ 単年度繰返 ☐ 期間限定複数年度		開始年度	不明/年度
根拠法令等 (H26)				

(2) 事務事業の概要

市道等の除雪を行い、安全で確実な交通網の確保を図る。

(3) この事務事業を開始したきっかけ（いつ頃どんな経緯で開始されたのか）

道路整備が拡大したため、安全で確実な交通の確保を図る必要があるため。

(4) 事務事業を取り巻く現在の状況はどうか。(3)からどう変化したか。

除雪に対する市民からの要望は高まっているが、一方で受託業者や作業機械及び人員の確保など非常に厳しい状況になってきている。

2 事務事業の実施状況（Do）・・・・・・・・

(1) 対象（誰が、何が対象か）

幹線道路，通学路及び集落間道路等の市民生活に欠くことのできない市道等（冬期間通行しない山間部の道路や幅員狭小等により除雪困難な道路を除く）

(2) 対象指標（対象の大きさを示す指標）

指標項目	単位	23 年度 実績	24 年度 実績	25 年度 実績	26 年度 見込み	26 年度 実績
A 市道実延長	km	375	375	375	375	375
B						
C						

市道等の除雪や凍結防止剤の散布。

指標項目	単位	23 年度 実績	24 年度 実績	25 年度 実績	26 年度 目標値	26 年度 実績
A 除雪延長	km	326	326	326	326	326
B 除雪出動日数	日	67	72	81	70	77
C 凍結防止剤散布出動日数	日	23	24	19	20	49

除雪及び凍結防止剤散布の実施により、冬期間の交通機能を確保するとともに、利用者に対し安全で快適な生活環境を確保する。

指標項目	性格	単位	23 年度 実績	24 年度 実績	25 年度 実績	26 年度 目標値	26 年度 実績
A 除雪延長	☒ 上げる ☐ 下げる ☐ 維持	km	326	326	326	326	326
B 要望・苦情件数	☐ 上げる ☒ 下げる ☐ 維持	件	85	144	133	85	130
C 除雪率	☒ 上げる ☐ 下げる ☐ 維持	%	87	87	87	87	87

項目	財源内訳	単位	23 年度 実績	24 年度 実績	25 年度 実績	26 年度 計画	26 年度 実績
事業費	①国	千円					
	②県	千円					
	③地方債	千円					
	④一般財源	千円	47,876	63,374	75,537	44,295	87,666
	⑤その他()	千円					
	A 小計 ①～⑤	千円	47,876	63,374	75,537	44,295	87,666
人件費	⑥延べ業務時間数	時間	1,507	1,425	1,746	1,500	1,895
	B 職員人件費 ⑥×4,000 円	千円	6,028	5,700	6,984	6,000	7,580
計	トータルコスト A+B	千円	53,904	69,074	82,521	50,295	95,246
備考							

3 事務事業の評価（See）・・・・・・・・・・・・・・・・

（1）必要性評価（評価分類が「内部管理」の事務事業は記入不要）

① 施策体系との整合性

安全で快適な生活環境の確保を目標としているため結びついている。

② 市の関与の妥当性

法定事務であるため妥当である。

③ 対象の妥当性

法定事務のため妥当である。

④ 廃止・休止の影響

交通機能が著しく低下し、施策の効果に影響を及ぼす。

（2）有効性評価（成果の向上余地）

除雪区間の変更や除雪機械の増強により効果の向上の余地はある。

（3）公平性評価（評価分類が「内部管理」の事務事業は記入不要）

特定の受益者はいないため、公平である。

（4）効率性評価

効果を確保するために必要最小限の体制で実施しており、事業費は削減できない。

4 事務事業の改革案（Plan）・・・・・・・・・・・・・・・・

（1）概要（新しい総合計画体系における位置付け）

総合計画 体系（新）	施策（方針）	都市基盤施設の維持・強化	コード	21
	小施策（推進項目）	安全・快適な道路環境の向上	コード	2

（2）改革改善の方向性

現在の直営と委託の体制などの見直しを行う。

- ・ 直営の臨時補助員の交代要員新設と除雪・散布機械の増強。
- ・ 小型除雪機など小規模協力者を含む地域協働体制の確立。
- ・ 凍結防止剤散布協力者の拡充

（3）改革改善に向けて想定される問題点及びその克服方法

現行では臨時補助員の任用については、就業終了から3カ月期間を開ける必要があり、経験豊富な人材が確保しづらい。また、交代要員がいらないため作業が長時間にわたる場合がある。

5 課長意見

(1) 今後の方向性

- ☒ 現状維持（従来どおりで特に改革改善をしない）
- ☐ 改革改善を行う（事業の統廃合・連携を含む）
- ☐ 終了・廃止・休止

(2) 全体総括・今後の改革改善の内容

- ・ 現有の除雪機械について，老朽化から故障等が発生し速やかな除雪に支障をきたす状況が見込まれる。今後，計画的な機械の更新・状況が必要である。また，除雪作業が長時間にわたる場合の交代要員の新設配置が必要である。